

歯科衛生士のための

口腔機能管理 マニュアル

高齢者編

監修 公益社団法人 日本歯科衛生士会

Oral Function

Management

for the Elderly

医歯薬出版株式会社

メニュー		1, 空嚔下	2, 深呼吸	3, 咳嗽訓練
1	空嚔下 (間で数回)			
2	深呼吸	4, 首運動		5, 肩上げ
3	咳嗽訓練	6, 顔・首マッサージ		7, 舌運動
4	首運動	7, 舌運動		8, 口運動
5	肩上げ	8, 口運動		9, 頬運動
6	前後・左右・上下	9, 頬運動		10, 発声 「パンダの宝物」
	舌運動	10, 発声 「パンダの宝物」		11, 手押し 「エイエイオー」
	速さ	11, 手押し 「エイエイオー」		12, 深呼吸
7	口開閉	12, 深呼吸		13, 季節の歌
	・口唇突出 ・横引き	13, 季節の歌		アイスマッサージ
8	速さ	アイスマッサージ		

★ アイスマッサージ

氷水にさっつけて、水気を切った綿棒を使用する。あらかじめ水をつけて凍らせた綿棒を使用してもOK!

図1 口腔リハビリテーションのメニュー

ご本人に合った方法を試行錯誤しながら少しずつ繰り返し指導を行った。

●初診から約1年後

患者さんは、脳梗塞の後遺症による不自由さに、もどかしさや苛立ちを感じ、愚痴をこぼされるようになってきた。話に耳を傾け、リハビリの大切さや前向きな見方について話し励ます。また、モチベーションを上げるためにホームリハビリの課題も出した。



図2 追加した5本巻笛

<ホームリハビリの課題>

- ・「口腔機能リハビリテーション」のメニュー（特に舌や口唇の項目を重点的に）
- ・ブローイング
- ・発声練習

〈この間、来院は月2回を約3カ月間ほど継続し、その後、次の来院まで約3カ月間隔を開けるというペースでかかわっていった〉。

●初診から約2年後

口腔機能に少し改善がみえた。嚥下音、口唇からの水漏れ、発音に改善がみえた、舌尖は前より上にあがるようになり、舌の力もついてきた。RSST：2回/30秒 ブローイング：10秒以上

さらに、これに伴ってプラークコントロールも改善傾向になってきた。

これは、全体にモチベーションがあがってきたことと、口腔機能の改善が口腔衛生状態と相まって、良い方向に働いているものと思われる。

ホームリハビリについては、さらなるモチベーションの一環として5本巻笛(図2)を追加した。

●初診から約2年6カ月後

体重が安定。口腔機能はさらに改善、飲水時のむせは減少、舌の動きは良くなり、口も大きく開けることができるようになってきた。軟口蓋の挙上もでき、発音も前より少し良くなってきた。

ホームリハビリの中で、スプーンでの舌の抵抗運動を追加し、発音に関しては「パ・タ・カ・ラ」について力を入れてやっていただくようお願いした。

●初診から約2年7カ月後

口腔機能全体に改善傾向。RSST：2.5回/30秒(複数回の平均値)

“昔、歌うことが好きだった”ことを口にされる。手よりもまず、口のほうが早く良くなりたいと意欲をみせてくださった。

●初診から約3年後

甲状腺治療が終了したところで、ややスランプに陥る。

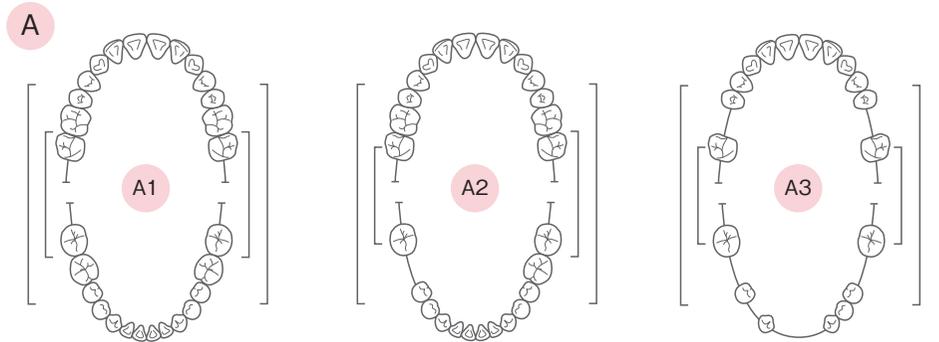
体調不良、気力低下、RSST・ピークフロー測定値(図3)・オーラルディアドコ

1 アイヒナー分類

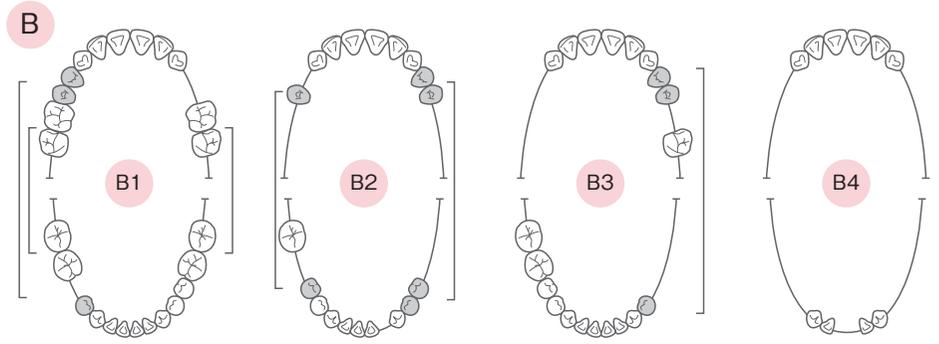
演習の目的

・口腔機能の中の「咬合」、「咀嚼」に最も影響が強いといわれている「アイヒナー分類」を理解することは、とても重要です。口腔領域の専門家として、残存歯の状況を即座に理解することは、責任を果たすうえで、避けられません。

(2章参照)



両側ともに咬合支持がある



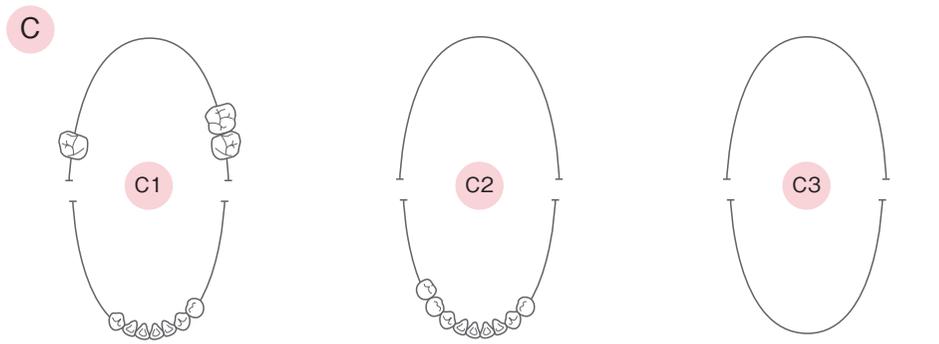
3カ所

2カ所

1カ所

なし

準すれ違い咬合



なし
すれ違い咬合

片顎CD

上下顎CD

2 咀嚼スコア

演習の目的

- 対象者がどの程度咀嚼できているかを評価することは、栄養サポートを含め、歯科的介入を考えるうえで、欠かせない要素です。咀嚼の評価は、多くの検査法が報告されていますが、要介護高齢者を対象とした場合に、負担が少なく、かなり正確に把握できる方法として「25品目による咀嚼スコア」の算出を行います。

(3章参照)

咀嚼スコアの計算をしてみよう

作業1：各グループで「問診する人」、「問診される人(患者or利用者)」を1人ずつ決めてください。

作業2：「問診される人(患者or利用者)」は、問診内容(摂取可能な程度)をあらかじめ準備してください。

作業3：「問診する人」は「問診される人」に対して問診をしてください。「問診される人」は、あらかじめ用意した答えを答えてください。

*これは「ロールプレイ実習」ですので、「問診する人」も「問診される人」もしっかり役になりきって演じてください。

*その時、それ以外のメンバーは「見学者」という立場で、2人のやりとりを正しく記録してください。

*記入用紙は、**資料1**を使ってください。**資料2**は記入例ですので、単なる参考資料です。

作業4：「ロールプレイ」が終了したら、**資料4**の計算のための用紙に問診結果を転写してください。

*計算方法については、アシスタントが説明してまいります。